

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公開番号】特開 2006-184078 (P2006-184078A)
【公開日】平成 18 年 7 月 13 日 (2006.7.13)
【年通号数】公開・登録公報 2006-027
【出願番号】特願 2004-376370 (P2004-376370)
【国際特許分類】

G 0 1 N 21/35 (2006.01)

G 0 1 N 22/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/35 Z

G 0 1 N 22/00 K

G 0 1 N 22/00 X

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 30 日 (2006.6.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被測定対象物を透過した電磁波の状態を検出するための検出装置であって、
電磁波を発生するための発生手段と、
前記電磁波を伝送するための伝送路と、
前記電磁波を検出するための検出手段とを備え、
前記伝送路中で前記電磁波が分布する領域の一部に通路を有し、
前記発生手段で発生し、前記通路中の前記被測定対象物を透過した電磁波の状態を前記
検出手段で検出することを特徴とする検出装置。

【請求項 2】

前記通路が流路であることを特徴とする請求項 1 記載の検出装置。

【請求項 3】

前記発生手段又は前記検出手段を複数備えることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の検
出装置。

【請求項 4】

前記被測定対象物は血液であり、前記血液を被検者より採取し、前記通路に導く注射針
を備えることを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか記載の検出装置。

【請求項 5】

前記電磁波がテラヘルツ波であることを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか記載の検出
装置。